記者発表資料

もがみがわ 緊急治水対策プロジェクト　地域を“みず”から守る ～最上川流域治水～

令和５年　７月　７日
最上川流域治水協議会

頻発化する水災害への備え！！みんなでできる流域治水の取組を進めよう！！
～令和2年7月豪雨から3年、令和4年8月洪水から1年～

- 令和２年７月豪雨から３年、令和４年８月洪水から１年を迎え、近年多発する水災害への備えと命を守るために、関係機関と連携して「流域治水」の取組を実践していきます。
- 今回は、令和４年８月洪水を想定した危機管理演習を７月 12 日、浸水センサ現地設置を７月 14 日、巡回パネル展を７月 21 日から開始します。
- 今後、長井市まるごとまちごとハザードマップ（想定最大規模洪水表示板の設置）の取組などを実施していきます。

１．最上川上流危機管理演習：【別添①】

- **令和４年８月洪水にて、被害を受けた置賜地区のうち、米沢市・南陽市・高畠町・川西町及び山形県、国土交通省において、本格的な洪水期を向かえるにあたり、実践的な危機管理演習を実施します。**
- **開催日時：令和５年７月 12 日（水）10:00～16:00※取材受付 9:30～**
- **開催場所：山形河川国道事務所　４階会議室※流域治水課へお越しください。**

２．ワンコイン浸水センサの設置：【別添②】

- **中山町・川西町は、ワンコイン浸水センサ実証実験（国土交通省）に参加しており、内水浸水常襲箇所の浸水状況を把握し、早期避難に資する浸水センサを現場に設置いたします。**
- **設置状況取材日時：川西町　令和５年７月 14 日（金）10:00～**
  中山町　令和５年７月 14 日（金）14:00～
  （※詳細な場所は問合せください。）
- **浸水センサの設置を行う株式会社テイデイイーは、流域治水オフィシャルサポーター制度の認定を受けております。**
  （詳細国土交通省ＨＰ→https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/supporter.html ）

３．水害伝承、巡回パネル展：【別添③】

- **令和２年７月、令和４年８月において、水災害により被害が発生した最上川中流・上流部を対象に、巡回パネル展を開催します。**
- **実施期間：７月 21 日（金）から９月４日（月）**
- **取材対応については、遊学館パネル展示会場（２階ギャラリー）において、７月 25 日 10 時から 11 時の間で実施します。**

４．今後の行事予定（各行事の実施においては、別途記者発表を予定しております）

- **長井市まるごとまちごとハザードマップの取組（7 月下旬から 8 月上旬予定）**
- **流域治水に関するトップセミナー（最上川流域治水協議会）7 月 31 日（月）**
- **最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト進捗状況報告（7 月下旬を予定）**

＜発表記者会＞：山形県政記者クラブ、米沢記者クラブ、新庄新聞放送記者会

問合せ先

【最上川流域治水協議会事務局】

◎取組全般

東北地方整備局　山形河川国道事務所　山形市成沢西 4 丁目 3 番 55 号

電話　023-688-8421（代表）

副所長（河川）　山影（やまかげ）　修司（しゅうじ）（内線　204）

流域治水課長　　今野（こんの）　浩一（こういち）（内線　351）

◎巡回パネル展（新庄河川事務所管内）

東北地方整備局　新庄河川事務所　新庄市小田島町 5-55

電話　0233-22-0251（代表）

副所長（河川）　畑井（はたい）　言介（げんすけ）（内線　204）

建設専門官　　鎌田（かまだ）　睦（むつみ）（内線　401）

◎巡回パネル展（山形県担当）

山形県県土整備部河川課　山形市松波 2-8-1

電話　023-630-2615（直通）

副主幹(兼)課長補佐　竹川（たけかわ）　正人（まさと）

東北地方整備局 山形河川国道事務所

令和５年度 取材申込書

・取材を希望される報道機関におかれましては、下記送付先まで FAX・メールでお申し込み下さい。

取材申込期限：取組前日の１６：００まで

１．取材を希望する取組名

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２．報道機関名（会社名及び部署名）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

３．氏名

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

４．連絡先（連絡可能な携帯電話等）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

送付先：ＦＡＸの場合　０２３－６８８－８４３８
送付先：メールの場合　thr-761chouichi@mlit.go.jp
（東北地方整備局 山形河川国道事務所 流域治水課あて）

別添①

最上川上流危機管理演習（置賜地区）

国土交通省
山形河川国道事務所

スケジュール（予定）

報道機関取材受付（9：30～9：45）

報道機関向け全体演習概要説明（9：45～10：00）

開会式：5分（10：00～10：05）

演習方法説明：10分（10：05～10：15）

10:00

危機管理演習：90分　（10：15～11：45）

訓練1：　簡易RPG方式による演習

11:00

12:00

昼食・休憩：90分　（11：45～13：15）

13:00

危機管理演習：90分　（13：15～14：45）

訓練1：　簡易RPG方式による演習

14:00

休憩：15分　（14：45～15：00）

15:00

全体発表（講評）：15分　（15：00～15：15）

危機管理演習：50分　（15：15～16：05）

訓練2：　課題解決型による演習

16:00

全体発表（検討結果共有）：20分　（16：05～16：25）

17:00

【留意事項】

①当日の気象、災害状況等により延期する場合があります。

②当日は、一般の方々の見学も可能です。

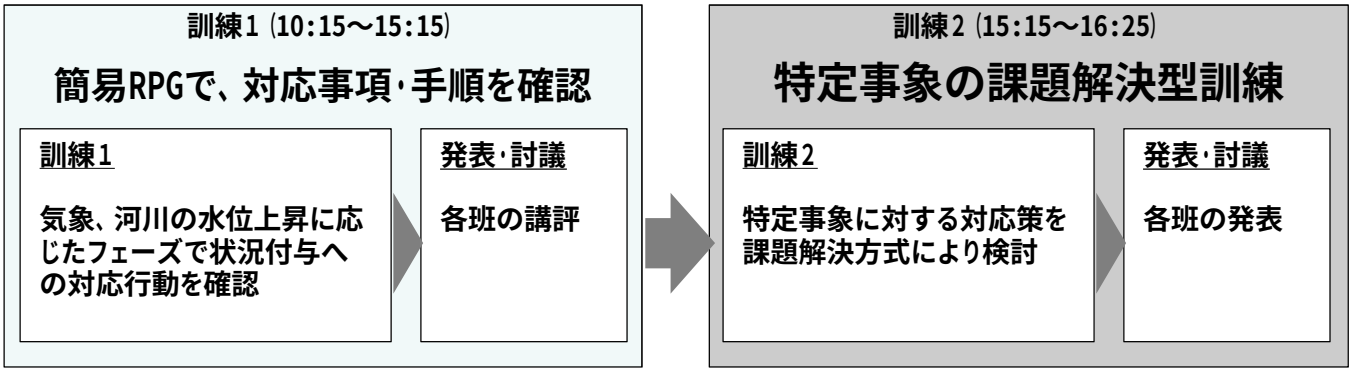
③報道機関を対象に、当日の9:45から全体の訓練内容を説明しますので、会場入口で受付をしてください。

最上川上流危機管理演習（置賜地区）

国土交通省
山形河川国道事務所

実施内容

演習の流れ



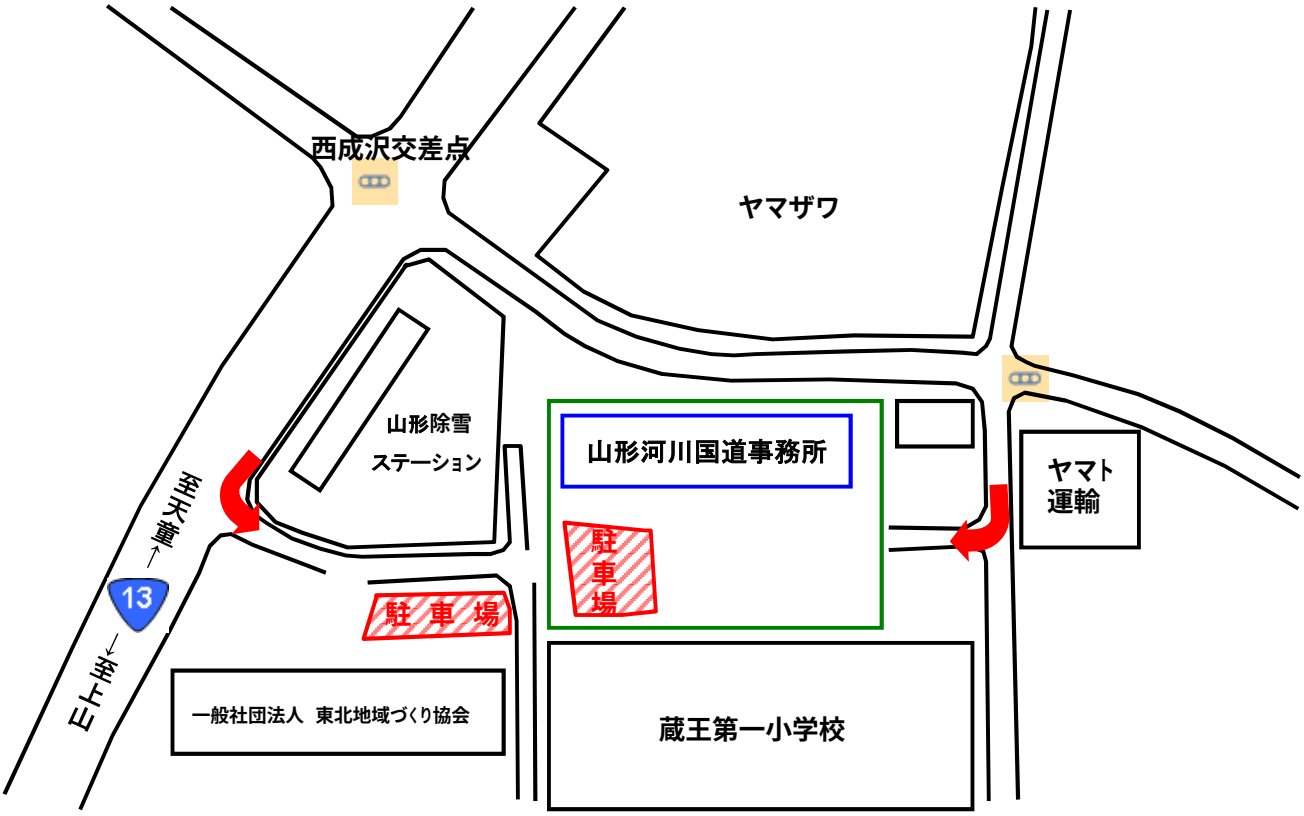
※訓練1　簡易ロールプレイング方式とは

●気象状況や河川の水位上昇に応じていくつかのフェーズに分類し、フェーズごとに浸水被害等の状況を付与し、対応行動を検討、書き出していく方法を採用。
●状況付与は、紙媒体で行う簡易なものとし、想定時間で状況付与を行う。
●各フェーズ40分程度とし、いくつかの状況付与を行い、適切な対応行動を各班ごとに検討し、書き出す。

※訓練2　課題解決型とは

●予め対応方法が詳細に検討されていない特定事象の状況を付与する。
●プレーヤーはその状況に対して、限られたリソース（情報、人員等）の中で取り得る最適な対応を図面等をもとにDIG方式で検討する。
（DIG：Disaster Imagination Game）
●付与される特定事象に対して様々な観点からディスカッションすることで、予め準備して置かなければならない課題と改善策（対応の優先事項の考え方、対応マニュアルの更新、事前調査等）を掘り起こすことを企図。

※今回の主な訓練のポイント
・R4.8洪水など実災害を踏まえた演習シナリオ
・多機関・多部署の連携による演習の実施
・地域個別課題に適応したDIG方式の訓練実施　等



会場に関するお問合せ及び当日の連絡先
ＴＥＬ　０２３－６８８－８９３３（山形河川国道事務所 流域治水課）

令和４年度 最上川上流危機管理演習状況
（10月25日・山形河川国道事務所）







訓練の様子

ワンコイン浸水センサ　～官民連携による流域の浸水状況把握～

- 近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、面的に浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっています。
- そのため、国・自治体・民間企業等の様々な関係者が「小型・長寿命・低コスト」のワンコイン浸水センサを多数設置し、浸水状況を面的にリアルタイムで把握する仕組みの構築に向けて、センサの特性や情報共有の有効性等を実証するものです。

浸水被害の把握

ヘリによる調査

リアルタイム性
- 悪天候時に調査不可
- 夜間調査不可



痕跡調査

機動力
- 広範囲の調査不可
- 多数の人材確保
- 専門の技術者が必要

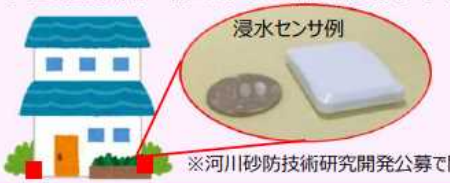


【既存の技術】

ワンコイン浸水センサ

センサの特徴

小型、長寿命かつ低コストで、堤防や流域内に多数の設置が可能な浸水センサ



※河川砂防技術研究開発公募で開発したセンサ

- 小型
- 低コスト
- 長寿命

官民連携による浸水域把握イメージ

堤防の越水・決壊などの状況や、地域における浸水状況の速やかな把握のため、浸水センサを企業や地方自治体等との連携のもと設置し、情報を収集する仕組みを構築



【技術開発】

活用イメージ

【災害時】
- 早期の人員配置
  （道路冠水による通行止め
  避難所の開設　　等）
- ポンプ車配置の検討

【復旧時】
- 罹災証明（自治体等）の簡素化・迅速化
- 保険の早期支払い
- 災害復旧の早期対応

など

スケジュール

令和5年1月～
・実証実験参加自治体・企業募集

令和5年4月～
・自治体・企業参加者決定
自治体：中山町・川西町
企業：(株) テイデイイー

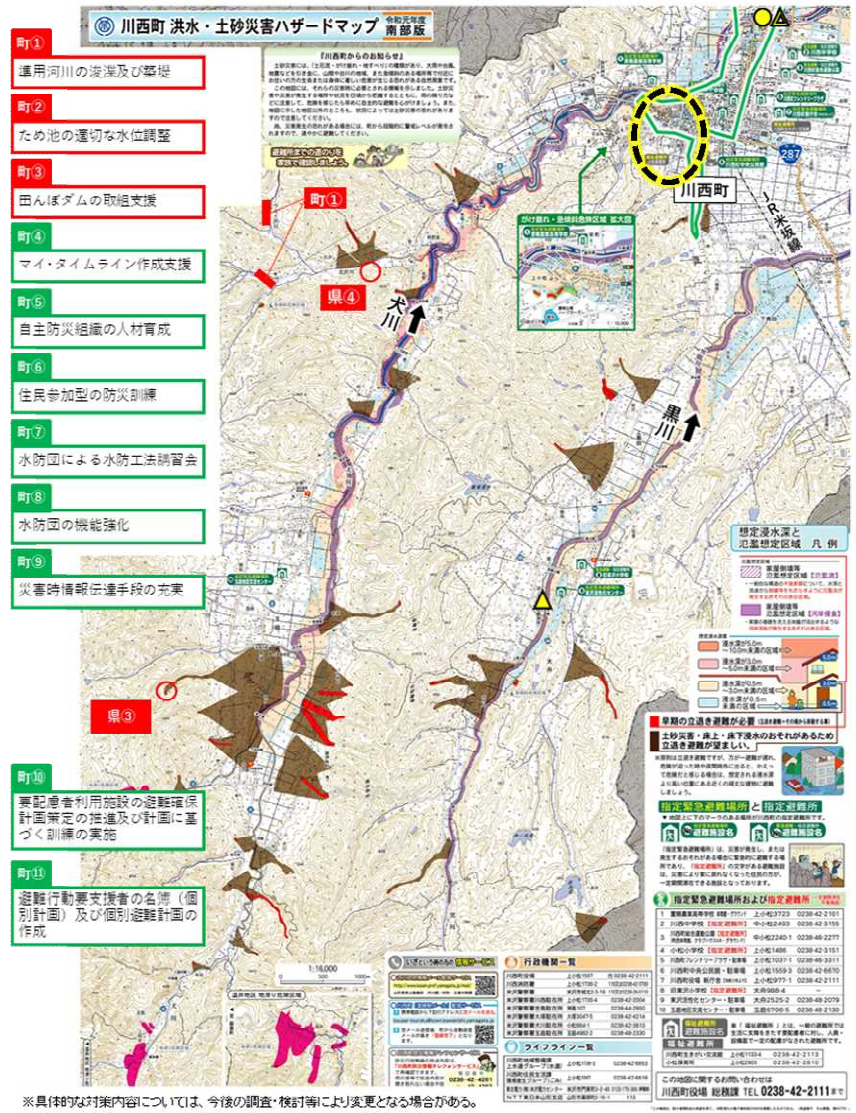
令和5年7月以降～
現地にて順次設置

川西町における水害リスク情報の充実に向けた取組み

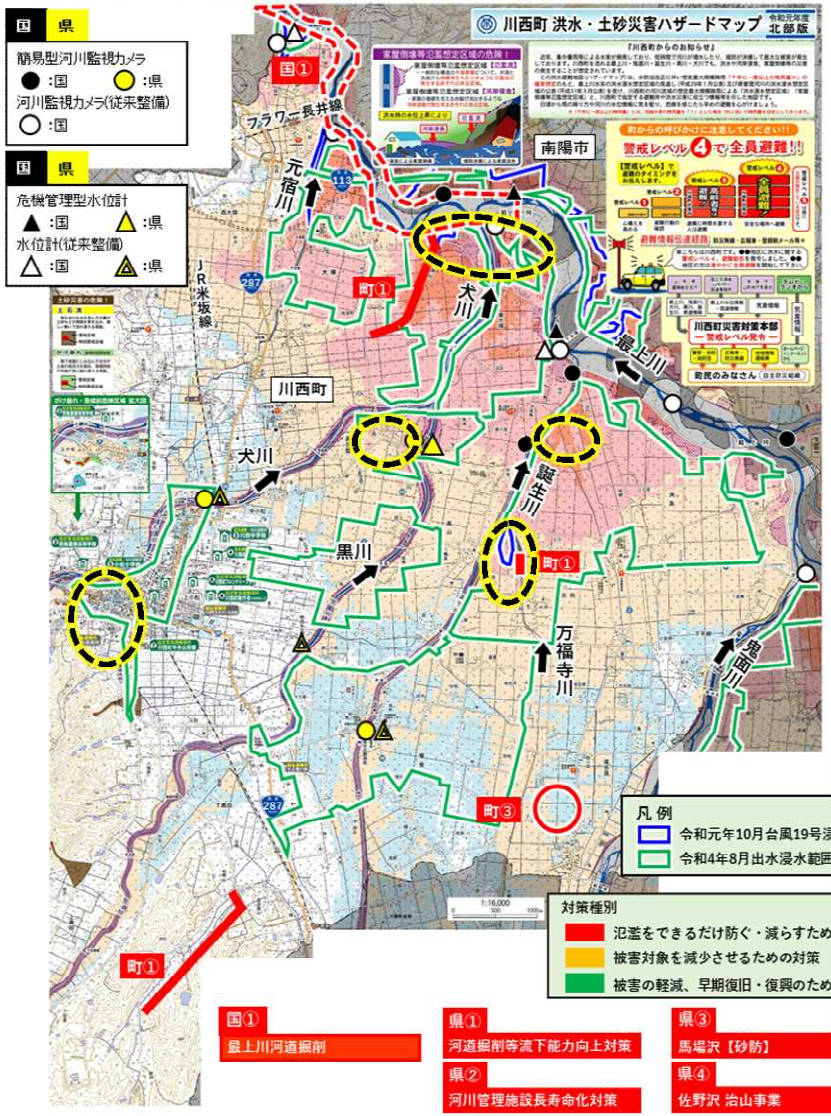
国土交通省　東北地方整備局
山形河川国道事務所

- 国、県で河川水位状況把握のため設置している機器管理型水位計に加えて、町において、ワンコイン浸水センサ実証実験（国土交通省）に参加し、内水浸水常習箇所の浸水状況把握のための浸水センサを設置する。（7月中の現地設置に向けて、調整中）

◯ ワンコイン浸水センサを活用した実証実験個所　　川西町地内 吉田・黒川・洲島・上小松・東大塚 計5地区に２７台のセンサーを設置予定



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。







中山町における水害リスク情報の充実に向けた取組み

取組概要

河川の水位状況や浸水状況の速やかな把握のため、国・県・町で連携し、水害リスク情報の充実を図る。

- 国：危機管理型水位計を設置する。
- 県：危機管理型水位計による継続監視を行う。
- 町：内水浸水常習個所の浸水状況把握のための浸水センサを設置する
  （令和５年度～ワンコイン浸水センサ実証実験（国土交通省）※令和５年７月設置に向けて調整中）

ワンコイン浸水センサ実証実験例



国土交通省HPより：徳島県美波町の例

ワンコイン浸水センサ

センサの特徴

小型、長寿命かつ低コストで、堤防や流域内に多数の設置が可能な浸水センサ



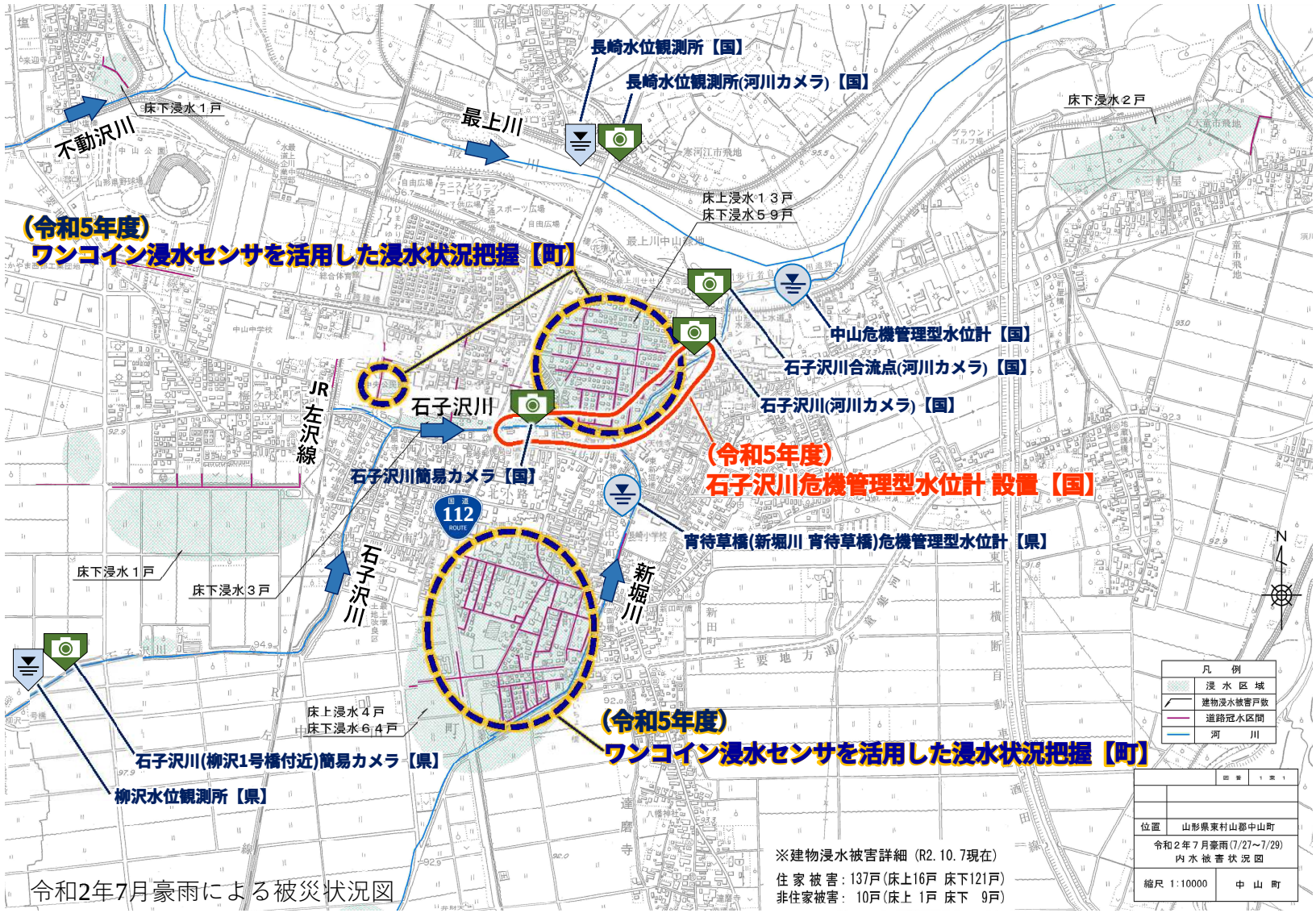
・小型
・低コスト
・長寿命

※河川砂防技術研究開発公募で開発したセン

官民連携による浸水域把握イメージ

堤防の越水・決壊などの状況や、地域における浸水状況の速やかな把握のため、浸水センサを企業や地方自治体等との連携のもと設置し、情報を収集する仕組みを構築





令和2年7月豪雨による被災状況図

もがみがわ 緊急治水対策プロジェクト

地域を“みず”から守る
～ 最上川流域治水 ～

別添③



飯豊町小白川　令和４年８月出水

川西町高山　令和４年８月出水

令和2年7月豪雨から3年、令和4年8月洪水から1年

水害伝承 巡回パネル展

水害伝承 巡回パネル展 2023年 7月21日(金)～9月4日(月)

市町村	会　場	開催期間
山形県	山形県生涯学習センター遊学館　２階ギャラリー	７月２５日（火）～８月　８日（火）
山形県	村山総合支庁	７月２４日（月）～８月１０日（木）
山形県	村山総合支庁　西村山地域振興局	７月２４日（月）～８月１０日（木）
山形県	村山総合支庁　北村山地域振興局	７月２４日（月）～８月１０日（木）
山形県	置賜総合支庁	７月２４日（月）～８月１０日（木）
山形県	置賜総合支庁　西置賜地域振興局	７月２４日（月）～８月１０日（木）
米沢市	米沢市役所　１階市民ホール	７月２１日（金）～７月３１日（月）
大蔵村	大蔵村中央公民館　２階ロビー	７月２４日（月）～８月　４日（金）
舟形町	舟形町役場　庁舎玄関ホール	７月２４日（月）～８月　４日（金）
川西町	川西町役場　１階展示スペース	７月２５日（火）～８月　７日（月）
尾花沢市	尾花沢市民図書館	８月　７日（月）～８月１８日（金）
大石田町	大石田町役場　町民ホール	８月　７日（月）～８月１８日（金）
長井市	長井市役所　１階市民ホール	８月　８日（火）～８月１７日（木）
南陽市	南陽市役所　１階市民ロビー	８月　８日（火）～８月１７日（木）
高畠町	糠野目生涯学習館ホール	８月１８日（金）～８月３１日（木）
白鷹町	白鷹町中央公民館　町民ラウンジ	８月１８日（金）～８月３１日（木）
飯豊町	めざみの里観光物産館　２階テーマ館	８月１８日（金）～８月３１日（木）
戸沢村	戸沢村役場	８月２１日（月）～９月　４日（月）
新庄市	最上広域交流センター ゆめりあ	８月２８日（月）～９月　４日（月）

主催：最上川流域治水協議会

山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町、三川町、庄内町、遊佐町、最上広域市町村圏事務組合、農林水産省、東北森林管理局、森林整備センター、山形地方気象台、最上川中流土地改良区、上山市土地改良区、東北電力株式会社、山形県、国土交通省